

農地・水・環境保全向上対策 活動事例集



平成20年8月

農林水産省

～まえがき～

農地・水・環境保全向上対策は、農業生産にとって最も基礎的な資源である農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの環境保全に向けた先進的な営農活動を総合的・一体的に支援し、これらの活動を通じて地域の振興に資することを目的として、平成19年度から実施しています。

この資料は、平成19年度に各活動組織で工夫しながら実施された様々な活動の情報を、中国四国各県の関係課及び各地域協議会のご協力により、農地・水・環境保全向上対策の活動事例集として作成しました。

対策の活動を通じて地域のみんまで話し合いを重ねたことにより「集落の環境が良くなった」、地域が元気になった」などの成果が出てきています。

活動組織の活動計画づくりはこの事例集を活用していただき、今後も、農地・水・環境保全向上対策が、地域の実情に即した効果的な活動に結びつくよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成20年8月
中国四国農政局



目次(事例のテーマ)

農地・水・環境保全向上対策 活動事例集

共同活動支援

畦畔・農用地法面等の雑草対策 あなたも畦畔など法面の草刈から解放されませんか? 「ヒメイワダレソウ」で雑草対策 花咲く農地 自らの手で地域を守る	(広島県/乃美エコクラブ) 3 (山口県/みどりの郷吉見) 4 (香川県/新川活動組織) 5 (愛媛県/長崎活動組織) 7
--	--

都市住民との交流

都市住民との交流で(営農活動PR)	(広島県/貞重環境保全研究会) 9
-------------------	-------------------------

遊休農地の活用

紅葉による景観保全で美しいもつくり	(岡山県/境地区協議会) 10
-------------------	-----------------------

生きもの調査・生態系の保全向上

地域みんなで生き物調査 農業の礎「ジャンボトニシ」から地域を守ろう 「ホタル」の生息できる環境づくり ホタルの里づくり	(島根県/津連川東地区保全組合) 12 (岡山県/都六地区資源保全組合) 13 (山口県/つかり水と緑の会) 15 (愛媛県/中村みどりの会) 16
--	---

景観形成・地域環境保全

コスモス・ひまわりの種提供 みんなあつまれひまわりっ子! N神戸 コスモス祭り!で地域が楽しく賑やかに!	(鳥取県/赤波の環境をまもる会) 18 (愛媛県/神戸地区環境保全会) 20 (高知県/笹場資源保全隊) 22
--	---

学校教育との連携

小学校教師を招いての講演・勉強会 みんなで守ろうわが郷土!! 地域ぐるみで豊かな自然を守ろう! 小学校と連携して地域を元気に! 昔ながらの農法を継承して「食育」の醸成	(鳥取県/円通寺環境保全委員会) 24 (岡山県/北川環境保全協議会) 26 (徳島県/上池地区資源保全会) 28 (高知県/穴内環境保全会) 30 (広島県/住みよいかみなかをつくる会) 32
---	---

活発な広報活動

未来の農村のために ため池を中心にやすらぎの里づくり 町ぐるみで一体的な保全活動を! 歴史ロマンが薫るまち「国府」	(徳島県/上喜東地域資源保全隊) 33 (香川県/福田環境保全会) 35 (高知県/なむききれいな町をつくらう会) 37 (徳島県/国府地域資源保全協議会) 39
--	--

その他、特徴的な活動

みんなで守ろうため池と田圃 災害被害を共同活動で復旧 再生アスファルトを活用した農道舗装 竹を活用した土留めため池の堤体改修 日置地区の農地を守る	(香川県/中田井環境保全会) 41 (鳥取県/茂田農水環境保全の会) 43 (島根県/真田地区資源保全組合) 45 (島根県/山環境保全会) 46 (山口県/へき地域資源環境保全会) 47
---	--

目次(事例のテーマ)

農地・水・環境保全向上対策 活動事例集

営農活動支援

生態系保全型ほ場整備地区 守ろう!大谷の環境資源 ～生きものにやさしい大谷田んぼを目指して～ (鳥取県/大谷地域資源保全活動組織) 51
--

取組面積等の拡大

環境保全型農業による安心・安全な農産物の面積拡大に向けて (高知県/今成園芸組合活動組織) 52

高付加価値化

環境にやさしい農業を活かした農産物のブランド化(高付加価値化) (島根県/斐川町農地・水環境保全協議会) 53
地域で取り組む環境負荷低減の米づくり ～みんなで安心・安全な地域・営農を!～ (岡山県/瀬環境保全組合) 54
地域営農集団による環境負荷低減と農産物のブランド化の取組 (香川県/東谷地区農村環境保全集団) 55

水田経営所得安定対策との連携

水田経営所得安定対策の支援を受ける集落営農組織が中心となった取組 (広島県/北広島町大朝地区) 56
水田経営所得安定対策との連携! ～集落営農組織を中心とした新たな米作りへの挑戦～ (山口県/大持山保全会) 57

地方公共団体、J Aとの連携

農地・水・環境保全向上対策を活かした環境保全型農業の推進 ～「エコファーマー」への取組～ (愛媛県/今治中寺保全会) 58
J Aとして環境保全型農業を推進する中で ～ブランド化した農産物の生産拡大～ (愛媛県/東明神本組中組活動組織) 59
農地・水・環境保全向上対策と一体となったハブ米の生産推進 (島根県/石見農村保全組合、その他組合) 60

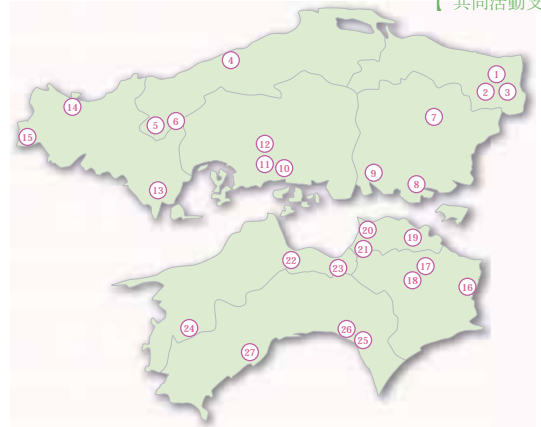
消費者との交流

消費者との交流! ～お米を通じた都市住民との交流が地域の宝物～ (徳島県/赤松地域資源保全協議会) 61

共同活動支援

農地・水・環境保全向上対策 活動組織マップ

【共同活動支援】



県名	番号	市町	活動組織名	頁	県名	番号	市町	活動組織名	頁
鳥取県	1	鳥取市	円通寺環境保全委員会	P.24	徳島県	16	徳島市	国府地域資源保全協議会	P.39
	2	鳥取市	赤坂の環境をまもる会	P.18		17	阿波市	上喜来地域資源保全隊	P.33
	3	八頭町	茂田農水環境保全の会	P.43		18	阿波市	上池地区資源保全会	P.28
島根県	4	江津市	市山環境保全会	P.46	香川県	19	さぬき市	新川活動組織	P.5
	5	吉賀町	真田地区資源保全組合	P.45		20	観音寺市	中田井環境保全会	P.41
	6	吉賀町	注連川東地区保全組合	P.12		21	観音寺市	福田原環境保全会	P.35
岡山県	7	美咲町	境地区協議会	P.10	愛媛県	22	西条市	神戸地区環境保全会	P.20
	8	岡山市	都六区地域資源保全組合	P.13		23	西国中央市	中村みどりの会	P.16
	9	笠岡市	北川環境保全協議会	P.26		24	松野町	長崎活動組織	P.7
広島県	10	三原市	住みよいかみなかをづる会	P.32	高知県	25	奈半利町	なごきれいな町をつくらう会	P.37
	11	東広島市	貴重環境保全研究会	P.9		26	安芸市	穴内環境保全会	P.30
	12	東広島市	乃美エコクラブ	P.3		27	中土佐町	笹場資源保全隊	P.22
山口県	13	光市	つかり水と緑の会	P.15					
	14	長門市	へき地域資源環境保全会	P.47					
	15	下関市	みどりの郷吉見	P.4					

畦畔・農用地法面等の雑草対策

広島県/乃美エコクラブ(協定農用地面積 60.0ha)

あなたも畦畔など法面の草刈から解放されませんか?

～ 防草シートとシバザクラを使った畦の管理作業の負担軽減 ～

活動組織名: 乃美エコクラブ
所在: 広島県東広島市

草刈を年に何度もするくらいなら、こんな作業はへっちゃらだ…!!

法面の事前準備



マルチ被覆とシバザクラを組み合わせた大規模畦畔管理技術と、難防除雑草を根まで枯らす技術をあわせ、さらに活動地域が独自に開発したものを集大成した技術を持って施工した。

防草シートの被覆



この活動で、集落みんなの意思統一ができ、「この地域を守るのは、自分達なんだ」と再認識。

定植したシバザクラが法面を全面覆うまで約3年かかるが、覆い茂った後は法面を草刈する必要がなくなる。また、法面を被覆することにより用水路への土砂の流入が少なくなり、用水路管理も省力化が図れる。

乃美へ、ぜひ皆さんに来てもらいたい



シバザクラの花の見える中心に都市住民との交流の場、憩いの場、癒しの場、農産物の販売PRの場として賑わい、集落の活性につながった。

畦畔・農用地法面等の雑草対策

山口県/みどりの郷 吉見(協定農用地面積 71.7ha)

「ヒメイワダレソウ」で雑草対策

山口県下関市 みどりの郷 吉見

みどりの郷吉見では、農地・水向上活動(きめ細やかな雑草対策)として、ヒメイワダレソウを農用地の畦畔、開水路法面、農道の路肩に植え付けをしています。

植え付け作業



ヒメイワダレソウ(姫岩垂草)は、除草作業軽減工法として使われ始めており、芝生に変わるグランドカバーとして注目されています。クマツラ科の多年生植物で、草丈5-10cm程度、6月-9月にかけて白い小花が咲きます。

雑草対策に優れており、土中深くまで高密度で根群が発達するので法面保護効果も極めて高い植物です。また、暑さ寒さに強く、乾燥にも耐え、痩せ地や石組みの間などに這わせてもよく育ちます。肥料もあまり必要とせず、実がつかない為、害虫が寄りません。ポイント は、水と光が大好きな植物なので、活着までの1週間は1日1回水をやります。開花時期には白い可憐な花がカーペット状に咲き、美しい景観が広がることでしょう。

平成19年度は、活動範囲の一部集落で活動を実施しましたが、好評により他の集落においても個人的に始められました。

今後、全域での活動を実施することを考えています。

従来から、各集落において共同活動は実施していましたが、本対策をスタートしたことで参加率が上がり、今後の新しい取組活動についても、積極的な意見が出るようになりました。



ヒメイワダレソウの花



排水路法面に繁茂した状態

畦畔・農用地法面等の雑草対策

香川県／新川活動組織(協定農用地面積 19.5ha)

にいかわ
新川活動組織『花咲く農地』

新川地区について

■地区の概要

本地区は、さぬき市中部に位置し、地蔵川の東側に広がる水田地帯で、昭和56年から平成3年にかけて県営ほ場整備事業寒川地区により整備された地区である。

営農は、担い手農家と個人営農により水稲を中心に行われている。

地区名: 新川地区 19.5ha
所在地: 香川県さぬき市寒川町



■取組に至った経緯

農作業については機械化が進んでいるが、農地以外の管理施設である田んぼの畦、農道の法部分の草刈りが、高齢化した農家にとって重労働となっている。これらを解消すべく対処法を模索していたところ、雑草防止策として、ムカデ芝を植栽する方法を見つけた。農協・普及センターの協力を得て、田んぼの畦・農道の法部分にムカデ芝を移植し、雑草防止とともに農村環境美化を図っている。

活動を通じて

■苦労した点

始めのうちは芝が雑草に負けるため、現況の雑草を除去し、法面の整形をおこなうための多大な労力と時間をついやした。その後も、芝が法面を覆うまで定期的に草取りと水やりを行った。



■工夫した点

最初に、芝を枯らさない適切な除草剤を散布し、雑草を生やさないよう維持管理の軽減を図った。

活動を終えての感想

■活動を行って良かった点

ムカデ芝の植栽により雑草を押さえ、地区内施設の景観の向上により、ゴミ等のポイ捨てが少なくなった。



将来の目標

～農村景観を守ります～(目標)

活動を通して改めて、地域の財産である道路・水路等の施設を管理・保全することで生活環境を改善する意識が高まった。

農地への植栽により、人々が足を止めて景観を楽しめる地域づくりを進めたい。



畦畔・農用地法面等の雑草対策

愛媛県／長崎活動組織(協定農用地面積 5.0ha)

長崎活動組織(愛媛県松野町)
～自らの手で地域を守る～

■地区状況

愛媛県松野町目黒地域にある長崎活動組織は、町の南端に位置し、高知県との県境にある地域。ほ場整備が進んでおり、中山間制度に乗らない比較的平坦な地区であり、近年高齢化が進んできている。



■取組への背景・経緯

本集落は、地域が一体となり農業への取組や水路・農道などの施設の維持管理をしてきたが、近年、担い手の高齢化・減少が進み、日々の除草作業などにおいても管理不足になる状態となり、頭を痛めていた。

近隣の集落では、中山間地域等直接支払交付金制度に取組維持管理作業の省力化を図っており、本集落においても何かの対策をと考えていたところ、水田地帯でも取組む『農地・水・環境保全向上対策』を実施することになった。中でもグラントカバープランツによる除草対策きめ細やかな雑草対策への追加支援【促進費】が、本集落の要望とも合致し、積極的に取組むこととなった。



ヒメイワダレソウ&センチピート 研修

■活動状況

グラントカバープランツの材料は、地域に合った経済的かつ有効な方法と農家自らが作業可能な簡易な方法を考え、経済的に安価なヒメイワダレソウを種子から育成することとなった。

また発芽育成については、普及指導員の指導により、なんとか成功した。



ヒメイワダレソウの押し水



ヒメイワダレソウの押し水

■活動して良かったこと

追加支援【促進費】にてグラントカバープランツによる除草対策に取組んだため、要件である自主施工の達成に向けて地域住民が一体となり本対策に取組めた。また、地域内の水路、農道の維持管理の省力化へ向けた活動を自らの手で行うことにより、地域住民による共同活動への自信が生まれ、更なる意識の向上へと繋がり、除草に係る労力軽減が図られ始めた。

グラントカバープランツの植付・管理



植付

■将来の目標

地区全域をグラントカバープランツによってカバーしていきたい。あわせて、農村環境向上活動において水田からの排水(濁水)管理を行うことで水質を保全するとともに、下流水路への泥の堆積を軽減し、更なる作業軽減を図っていきたい。



マルチの撤去



せき板による濁水の管理



除草

都市住民との交流

広島県／貞重環境保全研究会（協定農用地面積 46.2ha）

都市住民との交流で（営農活動PR）

活動組織名：貞重環境保全研究会
所在地：広島県東広島市

ウォーキングに出発だ！！

都市住民が余暇を利用し、ウォーキング体験を通じて、農業や農業用施設の役割や大切さの認識を深める場を提供しました。



みんなで共同作業



稲刈り体験では、自然と稲を刈る人と束ねる人に役割を分担して共同作業を行う姿がみられ、イベントを通して始めて出会った人たちが打ち解けている様子は、農業の魅力の一つであると感じられました。

昼食風景



昼食に用意されたのは、さだしげ米（こたわり米）の新米や酵素米のおにぎり、地元大豆100%の冷奴、地元大豆で作った味噌と野菜をふんだんに使った豚汁、地元野菜のお漬物、まさに貞重づくし。

またくるぞ！！



このイベントをきっかけとして、貞重を故郷と感じてもらい、里帰りの気分がどんどんやって来て下さい。

遊休農地の活用

岡山県／境地区協議会（協定農用地面積 51.2ha）

紅そばによる景観保全で美しいむらづくり 境地区協議会（岡山県美咲町）



■現状

農業用ため池と自然水に頼る中山間地域の棚田地帯であり、農業者の減少や高齢化に伴い、保全活動の低下や耕作放棄地の増大が危惧されている。

■取組のきっかけ

地域の特産品作付を検討する中、平成14年からそばに取組むことになり、地域一体となってそばづくりに取組んできた。その後、地区内に棚田のそば屋「紅そば亭」が開店し、名前の由来となっている、景観的にもきれいな紅そばで景観形成に取組むことになった。

■苦労した点

耕作放棄地が集落の中心を占めていた状況で、そばを作付けできるより復旧するのに大変な労力を要した。畑としての機能を復旧させる作業のため、重機が入るようになり、棚田地域であるので畦の草刈が重労働であるとともに、播種後の土寄せに手間がかかるので大変である。

■取組んでよかったこと

新聞に掲載されたり、テレビ等で紹介され、関心を持った人が遠くからも訪れ、賑やかになった。特に紅そばの花のシーズンには多くの人が写真撮影に訪れ、人が来ることで、地元としてもやる気が出るようになった。

■将来の目標

紅そばをきっかけに、より多くの人々が訪れ「紅そば亭」が発展するよう特産メニュー作りにも力を入れ、限界集落が元気になるように活動していきたい。



紅そば亭



作業後に記念撮影



遊休農地の復旧



石れきの除去



紅そばの開き作業



美しい赤い実を付けた紅そば

★豊かな自然と伝統文化を守りたい



坂神社の秋の大祭 獅子舞



地区の全景

★美しい景観や環境を守るためには、地域資源の保全活動から・・・



農道の草刈り



農道側溝の土砂上げ



機能診断により水路フリーユームの布設替えを実施



機能診断により必要と判断した農道のコンクリート舗装を実施

生きもの調査・生態系の保全向上

島根県／注連川東地区保全組合（協定農用地面積 23.2ha）

地域みんなで生き物調査

島根県吉賀町 注連川東地区保全組合

私たちの地域では、清流高津川を守るためにも、環境にやさしい農業として、除草剤や農薬、化学肥料を使わない米づくりに取組んでいます。

安全な環境を守る農法を実践した圃場は、生き物たちが豊かに暮らすエリアとなります。

このかけがえのない豊かな自然に囲まれた地域を次世代へ残すため、農業者や地域住民への意識啓発を図り、取組の拡大へと繋げるため、農業者・自治会・町内の学校児童及び保護者が、水田周辺の生き物調査を実施しました。

親子で田んぼや水路に踏み入り「直に生き物に触れ、その体験を通じ、これ以上この地球をいじめてはいけぬ。」「営々と守られてきた水田の風景やその豊かな自然を守ることは、私たちが世代を超えて幸せに暮らし続ける上での基本的なことである。」ということを地域内外の多くの皆さんと考える機会となりました。今後もこの取組を継続していきたいと思ます。



地域の水田周辺の生き物調査

生きもの調査・生態系の保全向上

岡山県／都六区地域資源保全組合（協定農用地面積 316.2ha）

農業の敵「ジャンボタニシ」から地域を守る

都六区地域資源保全組合（岡山県岡山市）



ジャンボタニシ



ジャンボタニシの卵



岡山県

■現状

ジャンボタニシ（正式名称：スクミリンゴガイ）は県南部の広範囲に棲息し、田植え後の稲の新芽が食い荒らされている。非常に繁殖力が強く越冬するものも多いため、駆除に大変苦勞しており、各農家での対応では限界がある。

■対策

田面水位を低く保ったり、開発中の薬剤に頼るしかないが、地域住民と共同でジャンボタニシを拾ったり、水路壁に産み付けられる無数の卵を削ぎ落とすことにより、少しでも増殖を防ぐ取組を行った。

地域みんなでジャンボタニシの卵をそぎ落とす活動を実践



- スローガン
1. 地域の魅力を再発見する
 2. 住民の輪をつなぐ
 3. 遊休農地を地域で守る
 4. 地域資源の寿命を延ばす
 5. 次の世代に地域への愛着を持たせる
 6. 地域ぐるみで生態系を保全する
 7. きれいな水を守る
 8. 私たちの地域をお花畑にする

★地域農業を支える用排水路の保全

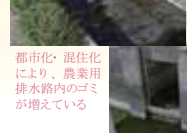
当地区は水田面積が広く大規模管農化されているが、地区内を縦横無尽に農業用排水路が流れており、維持管理延長が非常に長く、水路の維持補修や除草、水路掃除に多大な労力を要しているため、大型機械のリースや機械を導入して対応している。



水草が発生



重機のリースにより除草



都市化・混住化により、農業用排水路内のゴミが増えている



こまめに巡回しゴミを除去



水路沿いの農道の草刈



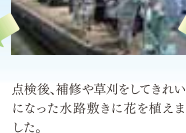
点検・機能診断



水路法面の補修



水路に付着する藻の除去



点検後、補修や草刈をしてきれいになった水路敷きに花を植えました。



景観形成のための植栽

生きもの調査・生態系の保全向上

山口県／つかり 水と緑の会（協定農用地面積 83.1ha）

「ホテル」の生息できる環境づくり

山口県光市 つかり 水と緑の会

「藤公と蛭の里東荷」では、地元の小学生と『東荷ゲンジボタル同好会』により、ゲンジボタルの飼育と放流が行われています。

※藤公：伊藤博文公



東荷ゲンジボタル同好会による飼育

『東荷ゲンジボタル同好会』は、ふるさとを愛しホテルの生息できる環境作りと、心のふれあう町づくりを目指しています。ホテルは清流のなかで、しかも限られた条件下でしか育ちません。美しい環境に恵まれた東荷では、その環境を維持するために積極的にホテルの飼育に取り組んでいます。

毎年6月～10月の間に東荷公民館にてゲンジボタル幼虫の飼育が始まります。餌のカワミナを与えたり水槽内の環境を整えたりと世話が大変です。今年もきっと素晴らしい光の乱舞が見られることと思います。みなさんは是非東荷に遊びに来て下さいね！

過去においても地元小学生と地域住民の間で、蛭の飼育・放流活動はなされてきましたが、本対策に地域で取り組むことにより、元々生態系保全活動に熱心であった地元の方々の皆さんも、より一層熱心に取組まれ、乱舞する蛭の個体数も倍増したように思います。

将来は、自然繁殖によって個体数が増加するように、地域全体で生態系保全に取り組んでいくこととしています。

地域住民・子供会等との交流機会が増え、河川に濁水を流さないようにと、地域での意識の高揚がうかがえます。



地元小学生による幼虫の飼育



生きもの調査・生態系の保全向上

愛媛県／中村みどりの会（協定農用地面積 41.4ha）

中村みどりの会（愛媛県 四国中央市）

～ホテルの里づくり～

■地区状況

愛媛県四国中央市中村地区は、温暖で穏やかな瀬戸内海気候であるが、南部に東西に連なる法皇山脈の山々が屏風のようにそそり立っている地区であるため、日本海側の気候の特徴も若干もっている。春先には“やまじ風”（日本三大局地風の一つ）と呼ばれる突風が吹き、農作物等が被害を受けている地域である。



愛媛県

四国中央市

■取組への背景・経緯

地域内にある西出水（湧き水による泉）が、災害による土砂の流入で埋め尽くされ、ホテルの飛び交う環境を失ってしまった。地域住民から、ホテルが居なくなるのが寂しいとの声があがり、もう一度ホテルの里を蘇らせるために活動（ビオトープづくり）を開始した。

■活動実施に伴う問題点

堆積している土砂を取り除くための草木の伐採・除去、その後ニシヨバレルによる泥上げを行った。土砂の除去により、今までのように安定して湧き水が出無くなるかとホテルの幼虫が住めなくなるため、今後生息できるかが心配になった。



土砂の除去



工事後の状況

景観形成・地域環境保全

鳥取県／赤波の環境をまもる会(協定農用地面積 17.0ha)

コスモス・ひまわりの種の提供
～景観形成生活環境保全～

活動組織名】 赤波の環境をまもる会
都道府県名】 鳥取県
市町村名】 鳥取市

■活動の内容

当活動組織は景観活動の一環としてひまわりとコスモスによる景観づくりを取組、それらから採取された種子を、他の活動組織へ景観づくりの一助となるように無償提供をおこないました。

提供する旨の文書 活動組織 市)



■活動して良かったこと

子供たちにも、ホテルの住む環境を知ってもらうために、学校教育と連携して「生き物調査」を実施した。その後、ホテル会から譲り受けた幼虫を、無事成長することを願いながら子供たちといっしょに放流した。

この活動には様々な人が参加しておち、農業等に関心が無かった人も、作業を通じ農村環境に関心を持つようになった。

また、子供たちも生き物調査を通じて、生き物の住む環境や生態を勉強する機会を得るといった貴重な経験ができた。



生き物が住める環境づくり
生き物調査

■将来の目標

このような活動を通じて、地域住民に地域を保全する意識が芽生え始めたので、この意識を大切にするためにも、今後とも清掃や放流などの活動を行い、子孫代々へと伝えていける活動をしたい。



清掃活動

景観形成・地域環境保全

愛媛県／神戸地区環境保全会(協定農用地面積 189.1ha)

神戸地区環境保全会(愛媛県西条市)
～みんなあつまれ ひまわりっ子 IN神戸～



■地区状況

愛媛県西条市は、西日本最高峰の石鎚山をはじめとする石鎚連峰を源流とする加茂川が、市域の中心部を貫流して駿灘(ひうちなだ)に注ぎ、加茂川によって形成された肥沃な沖積地と温暖な気候に恵まれた西条平野は穀倉地帯として知られている。また、加茂川の水流が地下に浸透し伏流水となり湧き上がり、広範囲に地下水の自噴井が形成され、これら『うちめき』と呼ばれている。

この『うちめき』の一日の自噴量は約9万㎡に及び、四季を通じて温度変化の少ない水は生活用水、農業用水、工業用水に広く利用されており、『名水百選』にも選定されている。

■取組への背景・経緯

本地域では、近年、通行量の多い農道沿いの農地が休耕田となっていたため、この休耕田(14a)を利用して何か地域興しが出来ないかと考えていたところ、これまでの保全活動に加えて、施設を長持ちさせるようなきめ細かな手入れや農村の自然や景観を守るなどの地域共同活動を促すものとして「農地・水・環境保全向上対策」がスタートすることを聞き「農用地を活用した植栽」がこの問題を解消させるものと考え、取組を決めた。この活動を通じ、子供たちに『ものを育てる心』を学んでもらうとともに、様々な体験ができるものと考えている。



子供たちによる植栽の状況

なお、実施にあたっては、神戸地区の婦人会、神戸PTA、自治会などの構成員が一致協力して、休耕田にひまわりの種植えなど様々な世話を行った。

■活動の効果等

先進的な活動を行うことで、他の活動組織の模範となっています。また、今回提供を受けた活動組織が同様の活動を行うことで、より一層の景観形成活動の広がりを期待できます。

パンフレット



景観形成・地域環境保全

景観形成・地域環境保全

高知県／笹場資源保全隊(協定農用地面積 19.5ha)

コスモス祭り で地域が楽しく賑やかに!

「**笹場資源保全隊**」(高知県高岡郡中土佐町笹場地区)

本地域は、地域の定住環境の向上を図り若者の住みやすい地域を目指しています。高齢化の進む中、農業後継者の育成を促進し、持続性のある農地保全活動を展開していきます。
地域内交流のために始め「笹場コスモス祭り」は、来客者が年々増加し、地域を元気に賑やかにしています。

■構成員

農業者 : 42名
非農業者 : 1団体(自治会)

■主たる取組

1. 基礎活動
施設周辺の草刈り、水路の泥上げ等
2. 農地・水向上活動
施設の機能診断に基づく補修活動
3. 農村環境向上活動
・学校教育との連携
・農用地を活用した景観植物の栽培
・地域住民との交流活動

■協定の対象となる資源

1. 農用地面積	2. 農業用施設
田: 19.4ha	開水路: 7.1km
畑: 0.1ha	管水路: 0.6km
計: 19.5ha	農道: 1.7km



■活動実施での心配

子供たちがひまわりを種子から育てたが、ひまわりは発芽してからは多少の乾燥には強いものの極端な乾燥状態になると弱ってしまうので、朝晩の2回の水やりが必要であり、大切に育てているひまわりが途中で枯れたりしないか心配であった。

■活動して良かったこと

ひまわりの種植えを行うために、婦人会など地域の方々の協力により地域交流もできた。また、自分たちで世話をして大切に育てたひまわりを見て、子供たちが大変感動していたのが印象深く、この活動を行うことで『ものを大切に育てる』という心が育めたのが大変良かった。

また、みんなで植えた約1万2千本の満開に咲いたひまわり畑で、地域住民と交流を行うために、ひまわり畑をバックに記念撮影を行った。花びらを使用した“しおみ”などのイベントを開催し、地域の方々が楽しく交流できたのが大変良かった。その他、婦人会の方がひまわり畑の前で子供たちを集めての絵本の読み聞かせや、ひまわり畑の一部を利用しての迷路探検など、子供たちはもちろんのこと、大人も童心に戻る事ができてとても楽しかったとの声も多く聞かれ大変好評であった。



満開に咲いたひまわり



婦人会による絵本の読み聞かせ

■将来の目標

今回の活動により、地域住民や子供たちに芽生えた『ものを大切に育てる心』を大切にするために今後も活動を続けて行きたい。

また、市との連携を図り植栽したひまわりを利用し、バイオマスエネルギーとして活用したいと考えている。

学校教育との連携

鳥取県／円通寺環境保全委員会(協定農用地面積 31.5ha)

小学校教師を招いての講演・勉強会

～取水口・開水路の生態系調査について～

活動組織名】 円通寺環境保全委員会
都道府県名】 鳥取県
市町村名】 鳥取市

■活動の狙い

本地域周辺は、多種類の小魚群、各種生物の生息地であり、又、山白川水系(通称「茶屋車井手」)は、昔から各種生物の生息地となっています。

本活動で多種類の小魚群及び各種生物に関して、その生息状況を把握し、生息地を保全する活動を行うことで、いつまでも生息できる環境を目指しています。

小学校教師による講演・勉強会の様子



■保全活動の状況

農道、水路周辺の草刈り ・ 水路の泥上げ ・ 配水施設の適正管理などを、非農業を含め地域が一体となって取り組んでいます。



農道周辺の草刈り



水路の泥上げ



配水操作(かんがい補助の注油)



農道周辺の草刈り

■農村環境向上活動の状況

○ 笹場コスモス祭り(10月末～11月)

- ・ 地域内交流を目的に、平成13年から始まったお祭りです
 - ・ 本対策で作付面積が拡大しました(H19: 2.5ha)
 - ・ 口コミで年々来客者が増え、地域住民の数を上回っています
- H19: 約250名 (地域住民: 120名、来客者: 130名)
- ・ 青年団や婦人会が、餅つきや手作り品の販売などしています
 - ・ 種まきは小学生も参加して楽しんでいます



満開



笹場コスモス祭り



小学生による種まき



来年に向けた種の収穫

■活動組織の声

良かったこと

地域に一体感が生まれ、色々な共同活動に一体的に取り組むようになった。

今後に向けて

地域の農業者は高齢化しており、後継者を育て、農地や農業資源を次世代に引き継ぐためにも、施設の長寿化や適切な保全管理を持続させていきたい。
コスモス祭りも、地域住民が楽しみながら続けていきたい。

学校教育との連携

岡山県／北川環境保全協議会“あいネット 北川”（協定農用地面積 177.0ha）

みんなで守ろう！わが郷土！！

※活動地
北川環境保全協議会 あいネット 北川 岡山県笠岡市



■現状

地域においては、農地面積に対して従事者は高齢者が多く、農業を引き継いでいく若い人が少なくなってきたため、農地・水路の管理保全等に十分な対応が出来なくなっている。

■取組のきっかけ

農業に対する認識を深めてもらうため、小さい頃から土や水、作物に関心をもってもらおう、特に小学生・中学生を対象とし、遊休水田を利用し、もみまき、田植え、草刈、稲刈、脱穀、もちつきと作付から収穫までの作業を一貫して、体験することによって、自ら学ぶ姿勢を持つよう指導を行うこととした。

一方、地域住民においては、農地・水・環境を守る立場から、地区内を小単位の区域に分け、又は団体毎に実施計画をたて、農家・非農家の住民が一体となって、事業を実施することにした。

★小学校や地域との連携を大切にしています。



■取組 組んでよかったこと

地域住民は農地保全と環境整備の必要性が一体化しているという認識が共有された。

児童や生徒は農作業を体験することによって、農業の大切さ、生物に関する知識を深めるため、自主的に学び、発表・行動することを身につけた。

学校教育との連携

徳島県／上池地区資源保全会（協定農用地面積 172.9ha）

“地域ぐるみで豊かな自然を守ろう！”

※活動地
上池地区 資源保全会（徳島県阿波市）

高校生や小学生と連携し、自然を守るための共同作業をこれからも、楽しく行っていきます。

■高校生と長寿会で農道の花植

- ①花の植栽を通じて、地域の人達と高校生の交流ができました。植栽後も生徒達が清掃時間を利用して、草取りをして管理を続けていきます。
- ②地域の人達もウォーキングコースや、今年は駅伝練習コースとして利用している農道なので、環境に意識を持ってくれるようになり、色々な活動に参加してくれるようになりました。
- ③ちょうど職場体験中の中学生が、市役所の広報の取材に來ています。本対策の主旨や活動の大切さを市の広報でPRできました。また、ケーブルテレビも取材に來ています。



■将来の目標

地域住民みんなが一体となり、農地・水路・環境保全を守っていくことの大切さを認識し、農業に対する理解を深め、若い人が農業に従事することへの魅力を感じ、農業経営が安定できるよう努力していきたい。

農業従事者自らも農地の集積、農道、水路の維持管理等に取組めるよう地域全体で協体制を整えたい。

また、出来れば生産重視から消費（販売）にも目を向けて地産地消運動についても取組の可能性を追求していきたい。

学校教育との連携

高知県／穴内環境保全会(協定農用地面積 15.4ha)

小学校と連携して地域を元気に!

「穴内環境保全会」(高知県安芸市穴内六丁地区)

本地区では、農家の高齢化や混住化が進み、農地や農業資源を農家だけで保全することは困難となっていました。一方、小学校も環境問題を総合学習で計画中であったため、水質調査や景観形成に共同で取り組むこととなりました。
子供たちとの共同活動は地域のお年寄りたちを元気にし、地域のつながりができつつあります。

■構成員

農業者：40名
非農業者：4団体(学校・PTA、J A 土地改良区)

■主たる取組

1. 基礎活動
施設周辺の草刈り、水路の泥上げ等
2. 農地・水向上活動
施設の機能診断に基づく補修活動
3. 農村環境向上活動
・学校教育との連携
・農用地を活用した景観植物の栽培
・水質モニタリングの実施・記録管理

■協定の対象となる資源

1. 農用地面積	2. 農業用施設
田：15.4ha	開水路：4.1km
畑：1ha	管水路：2.8km
計：15.4ha	ため池：1.0ha
	農道：2.4km



■小学生と運営委員でため池に花植

- ①上池の堤防に小学生と一緒に花を植えました。今後も続けたいと考えています。
- ②上池の花植を通じて、小学生に自然豊かな環境を守ることを学んでもらいました。
- ③また、小学生に農業に必要なため池の役割や歴史を学んでもらい、農業にも興味を持ってもらっています。



■感想と目標

- ①上池の堤防の補修、取水施設の塗装・点検や管水路と付帯施設の制水弁等の保守点検が、人手不足や予算不足で十分できていませんでしたが、共同作業で実施できたことは良かったと思います。
- ②遊休農地の実態調査を行いました。遊休農地の保全管理に努力したいと思います。
- ③自然の生態系を守るため、上池でブラックバス釣り大会を行います。



私たちは、これからも農業者と非農業者が一緒に参加し、地域ぐるみで支え合い助け合う、良き連帯感を育みながら、自然豊かな環境を守ることを願っています。

学校教育との連携

広島県／住みよいかみなかをつくる会(協定農用地面積 30.4ha)

昔ながらの農法を継承して「食育」の醸成

活動組織名：住みよいかみなかをつくる会
所在：広島県三原市

■保全活動の状況

農道、水路、ため池周辺の草刈り ・ 水路の泥上げ
・ ため池や配水施設の点検
などに、地域が一体となって取り組んでいます。



■農村環境向上活動の状況

- 地域の小学校と連携して、コスモスの種まきを行うなど景観形成植物の栽培を行っています。
- 水質調査も小学校の環境学習と連携して行い、子どもたちが地域環境の大切さを勉強しています。



■活動組織の声

地域の小学生と共同で行ったコスモスの種まき

苦労したこと

小学校も環境学習を検討中でタイミングが良かったため、調整にあまり苦労はなかった。水質調査も、市役所の水質に詳しい人が講師をしてくれたため、さほど苦労はなかった。

良かったこと

コスモスの種まきなどを小学校と連携して行ったことで学校が身近になった。子供たちが積極的に参加してくれ、地域のお年寄りたちも大変喜んでくれた。

今後に向けて

遊休農地を利用したコスモス栽培だったため見てもらうのに適した場所ではなく、開花後に小学校と連携した活動もできなかった。次回からは人通りの多い場所でもコスモス栽培に取組、市の広報誌等にも掲載して多くの市民に見てもらえるようにしたい。また、開花後に小学校と連携した何らかの取組を行っていきたい。

農業を実際体験することで、農業の大切さや食育に対する意識向上が図られた。



昔ながらの農法を体験し、稲作の辛苦を実感することで、先祖代々守られてきた農地や農法をこれからも伝えていきたい。

子供たちとの交流により、ふるさとを大事に思うことを、再認識できた。この活動を継続的にを行い、将来、快適で安心安全の「住みよいかみなか(地域づくり)」を究極(夢)として頑張ります。



来年も頑張るぞ!!

活発な広報活動

徳島県／上喜来地域資源保全隊（協定農用地面積 75.4ha）

未来の農村のために

上喜来地域資源保全隊（徳島県 阿波市）

農地・水・環境を守るために私たちができていることを考えてみましょう！



■未来に残そう美しい環境 守ろう美しい農村の景観

当地域は瀬戸内海式気候に属する干ばつ常襲地帯であり、先人達は農業用水に対し多大な労力と経費を費やしてきました。しかし高齢化した農業者だけで保全していくことは困難です。そのため、農業者だけでなく15の団体に属する地域住民が一丸となり、積極的に地域の資源や環境を保全します。



農業者と15の団体に属する地域住民が一丸となり、活発に組織的な活動を行っています。

シンボルマークの制作

■全体は上喜来の「上」を図案化したものです

共同の意識を高めるため、みんなで考えたシンボルマーク入り帽子を配布し、作業時に使っています。



◆シンボルマークの説明

緑色	緑一帯やかな農地
水色	水＝豊かな水資源
青色	環境＝きれいな地球
赤色	太陽＝自然の恵み



活発な広報活動

香川県／福田原環境保全会（協定農用地面積 18.6ha）

福田原環境保全会

～ ため池を中心に やすらぎの里づくり ～

地区名：福田原環境保全会 18.6ha
所在地：香川県観音寺市大野原町

福田原環境保全会について

■地区の概要

本地区は、香川県の西部に位置する観音寺市大野原町東部の福田原集落の一円である。
文政池を水源とした田園地帯であり、昭和47年度に県営ほ場整備事業により整備された地域で文政池の水利組合を中心として組織した地域でもある。



■取組に至った経緯

平成12年度に国営総合農地防災事業でため池の改修が完了したことにより、下流域の住宅地の安全が図られた。また、県営ほ場整備が完成して36年経過して水路、農道等の施設の長寿命化を図るため、地域住民でため池、水路、農道等の草刈や点検整備をしようという運気が高まり、昨年から共同活動に取組んでいる。

活動を通じて

■苦労した点

農地・水・環境保全向上対策の取組む事について、活動項目が多いうえに活動内容を理解して計画を立てるのに時間を要した。

■工夫した点

活動の内容等について、構成員の全員に理解して頂いて活動に参加して地域の保全をして行くよう啓蒙・普及するために、広報誌を作成して全戸に配布した。



活動を終えての感想

■活動を行って良かった点

広報誌による活動の理解が広まり共同活動を通じ、非農家の人たちも、土地改良施設に関心を持ってもらえるようになった。

活動後、地域の環境が良くなり、活動を通じて住民たちの一体感、活性化が生じてきたように思える。



将来の目標

■ため池を保全します！

広報誌での啓蒙により、地域住民が共同で施設の点検や堤防の草刈に参加したことで、ため池を守る意識が高まりました。
国営事業で改修された文政池は、自分たちで点検整備を行い100年・200年先まで守っていきます。

■ため池の水質を守ります

ため池の池干し、生活排水等の流入を防止することについて検討し、ため池の水質浄化を図ることで、地域の米や野菜の品質が向上し、食の安全に繋がるよう努力をします。国営事業で改修された文政池は、自分たちで点検整備を行い100年・200年先まで守っていきます。



活発な広報活動

高知県／なはり きれいな町をつくろう会(協定農用地面積 50.3ha)

町ぐるみで一体的な保全活動を!

「なはりきれいな町をつくろう会」(高知県安芸郡奈半利町)

奈半利町では、町の平地のほぼ全域が1つの用水系統にあることもあって、「農地や農業資源の保全には町全体で一体的な取組が必要」と、町が積極的に活動組織の取組を進めています。
平成19年度採択では一部農地が地区外となっていますが、平成20年度には活動範囲を拡大し、奈半利町の平地のほぼ全域で一体的な活動が行われる予定です。

■ 構成員

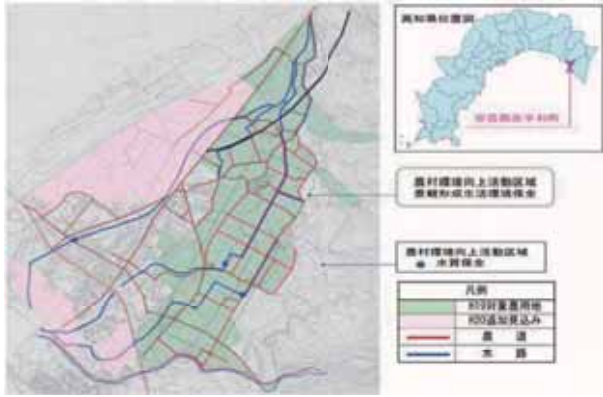
農業者 : 186名
非農家 : 20団体
(自治会(12)、土地改良区(1)、J A(1)
学校・PTA(4)、消防団(2))

■ 主たる取組

1. 基礎活動
施設周辺の草刈り、水路の泥上げ等
2. 農地・水向上活動
施設の機能診断に基づく補修活動
3. 農村環境向上活動
・景観形成のための施設への植生
・水質保全を考慮した施設の適正管理

■ 協定の対象となる資源

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 農用地面積 | 2. 農業用施設 |
| 田: 48.4ha | 開水路: 20.0km |
| 畑: 1.9ha | 農道: 16.0km |
| 計: 50.3ha | |



■ 保全活動の状況

- ・農道や水路の周辺の草刈り
水路の泥上げ
- ・農道の補修
などを、非農家を含め、町ぐるみで一体となって取組んでいます。



農道や水路周辺の草刈り

水路の泥上げ

農道の補修(砂利補給)

■ 農村環境向上活動の状況

- ・学校と連携して水質調査を行うなど、地域の環境に対する啓発活動を行っています。
- ・農地や道水路の草刈り後の法面に、ヒメワダレンソウを植栽する活動も始めています。



学校教育と連携して行う水質調査

草刈り後の法面にヒメワダレンソウ植栽(景観形成+雑草対策)

■ 活動組織の声

苦勞したこと

農家、非農家を問わず、町全体として農村環境向上活動に取組むことへ理解をもらい、まとめるまでに苦勞した。

活動区域内には12集落あり、各集落からの要請を受け説明会を実施した。

良かったこと

流域で一体的に取組むことで、上流域で草刈り等を行った際に水路へ落ちる草やゴミを、下流域で集めて処理するなど、以前なら苦情に繋がる活動が円滑に行える体制ができ、地域に一体感が生まれた。

今後に向けて

この取組を周辺に広げていき、奈半利町全体の取組にしていきたい。

活発な広報活動

徳島県／国府地域資源保全協議会(協定農用地面積 180.2ha)

歴史ロマンが薫るまち「国府」
国府地域資源保全協議会(徳島県徳島市国府町)

■ 地域ひとくちメモ

国府の町名は、奈良時代に国司庁が置かれたことが由来となっています。
そのほかに古墳群の大量出土や語り継がれる義経伝説など、古代、中世の歴史ロマンが薫る地域です。

■ 主な活動内容(平成19年度)

- 開水路の草刈り及び泥上げ
- 開水路の目地詰め等補修
- 調整池の保全管理
- ゲート類の保守管理
- 景観形成作物(コスモス)の植栽
- 地域住民等へ情報発信



協議会だよりを配布して、地域住民に本対策のPRを実施しました。



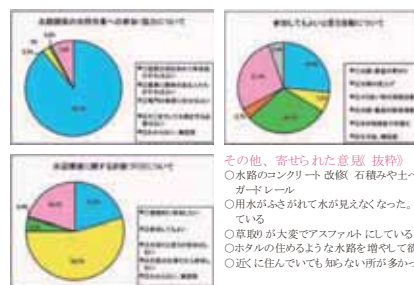
地域資源の再発見『田園ウォークin国府・以西』の開催

地元で開催された「田園ウォーク」においてアンケート調査を実施し、共同活動に対する考え方や農村地域に対する要望などの把握に努めました。



■ 回答者(236名)の内訳

- 性別 男性111名、女性123名、無回答2名
- 年齢 40歳未満28名、40～59歳75名、60歳以上133名
- 農家・非農家の別 農家52名、土地持ち非農家22名、非農家154名、無回答8名



その他、寄せられた意見(抜粋)

- 水路のコンクリート改修(石積みや土へ)、農村環境の保全(色づかい等)、木製ガードレール
- 用水がふさがれて水が見えなくなった。田畑の仕切の畦がなくなり、自然が失われている
- 草刈りが大変でアスファルトにしているが、もう少し環境に配慮して土を残したい
- ホテルのせりよめるような水路を増やしてほしい
- 近くに住んでいても知らない所が多かった。良い勉強になった

その他、特徴的な活動

香川県／中田井環境保全会（協定農用地面積 53.1ha）

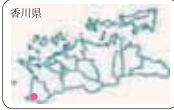
なかだい
中田井環境保全会
～ みんなで守ろう ため池と田園 ～

地区名：中田井環境保全会 53.1ha
所在地：香川県観音寺市中田井町

中田井環境保全会について

■地区の概要

本地区は、香川県の西部に位置する観音寺市中田井町の集落で、寛永16年(1639年)讃岐生駒藩普請奉行西嶋八兵衛(にしじまはちべえ)により築造された一ノ谷池を中心とした田園地帯である。



■取組に至った経緯

中田井町の集落は一ノ谷池の直下にあり、歴史的にため池堤防の決壊による被害を繰り返して来た苦い経験のある地域である。
被害の復旧にあたっては、地域住民が日夜を問わず丸となって作業を行った経緯があり、これらの背景が住民たちの地域を愛する強い気持ちとなって根底にある。
このことから、今まで行ってきた土地改良施設の草刈等の維持管理に加え、施設の長寿命化及び地域の環境保全を行うため「中田井環境保全会」を組織した。

活動を通じて

■苦労した点

一ノ谷池に隣接している一ノ谷子池の堤防に水仙を植栽するため雑木の伐採・抜根に大変苦労をした。

■工夫した点

一ノ谷子池堤防の雑草防止のため路肩・法面に水仙を植栽することで、雑草の繁殖を防止した。



その他、特徴的な活動

鳥取県／茂田農水環境保全の会（協定農用地面積 11.9ha）

災害被害を共同活動で復旧

～水路の土砂を撤去して用水を確保～

活動組織名】 茂田農水環境保全の会
都道府県名】 鳥取県
市町村名】 八頭町

■活動の内容

平成19年8月22日、八頭町では時間雨量80mmを越える豪雨が襲い、町の至る所で土砂崩れ等の災害が起きました。

茂田地区でも水路や農道・水田に土砂が流入し営農に支障をきたす状況になり、この復旧を活動組織が共同作業として行いました。

災害による被害状況



活動を終わっての感想

■活動を行って良かった点

農業者だけでなく自治会、子供会、老人会が保全会の構成員になった事で地域全体の協力が得られ、中田井町協議委員会の決議が町全体にスムーズに伝達されたことにより地域が活性化された。



将来の目標

■みんなで地域を保全します！

この事業(活動)を通じて新住民と旧住民が同じ目的に向かって努力する事、目標に向かって進む事で地域の融和と協調性が図られ、また、自然を愛し地域を愛し豊かな町を作りたい。



その他、特徴的な活動

鳥取県／茂田農水環境保全の会（協定農用地面積 11.9ha）

災害被害を共同活動で復旧

～水路の土砂を撤去して用水を確保～

活動組織名】 茂田農水環境保全の会
都道府県名】 鳥取県
市町村名】 八頭町

■活動の内容

平成19年8月22日、八頭町では時間雨量80mmを越える豪雨が襲い、町の至る所で土砂崩れ等の災害が起きました。

茂田地区でも水路や農道・水田に土砂が流入し営農に支障をきたす状況になり、この復旧を活動組織が共同作業として行いました。

災害による被害状況



■活動の効果等(将来の目標)

農地等の管理は、現在農家を中心とする自治会の会員で行っていますが、農家の稼不足、若者の農業離れや少子高齢化等により今後一層後継者不足が予想されます。

そういった現状の中、この事業を活用し、地域ぐるみで農村環境を守るためにも、今後も現在行っている共同活動を継続していきたいです。

共同活動による復旧状況



その他、特徴的な活動

島根県／真田地区資源保全組合（協定農用地面積 45.6ha）

再生アスファルトを活用した農道舗装

島根県吉賀町 真田地区資源保全組合

点検活動、共同作業計画に基づいて農道の窪みだ所にサイクルアスファルトを入れ転圧ローラーにより踏み固めた。

砂利等の補充では、雨水や農業機械等の走行により、頻繁に凹凸が発生するためサイクルアスファルトを使用した。



農道の窪みにサイクルアスファルトを入れ踏み固めた

水路を設置して約20年が経過しているため、水路側壁は傾き漏水が発生していた。漏水防止のため、モルタルコンクリートで目地詰めを実施し、側壁の傾きは鉄筋による補強を行った。



水路の側面補強及び目地詰め

この取組を通じ、地域内の広い範囲において農村資源の保全・向上が図られ、また、地域全体での共同の活動により地域内が活発になってきた。

今後は、営農組織の設立等により環境にやさしい米づくりの作付け率50%を目指し、また、遊休農地への花の植栽などによる地域の憩いの場づくりや農地の保全に努め、地域のよりよい環境づくりを推進していく。

その他、特徴的な活動

島根県／市山環境保全会（協定農用地面積 63.7ha）

竹を活用した土留めため地の堤体改修

島根県江津市 市山環境保全会

降雨毎に発生する土砂流出により、側溝が埋没するのを防止するため、土留め柵を地区民総出で設置した。

柵には農道の視界を妨げる竹林から間伐した竹を有効活用した。



路肩・法面の土留め柵設置

近年堤体からの著しい漏水により貯水機能が低下していたことから、老朽化した排水施設も併せて集落内の土木技能者の指導の下、地区住民総出で改修した。



堤体底種の改修

堤体前法の浸食防止

市山地区の農村資源を地域住民が共同で保全することは、私たちにとって新たなチャレンジでした。この対策の取組により、代々受け継がれた大切な資源や景観は、市山地区民共通の財産であるという認識が生まれ、このかけがえのない財産を今より更に美しくするとともに、永続的に後世に引き継ぐための基盤づくりに取組めたことを誇りに感じています。

将来、後世の方々が帰省した時「安らぎの空間」となりえる地域を目標に取組みたいと考えています。

その他、特徴的な活動

山口県／へき地域資源環境保全会（協定農用地面積 282.6ha）

「日置地区の農地を守る」

山口県長門市 へき地域資源環境保全会

日置地域は、昭和46年から県営ほ場整備事業として基盤整備が実施されてきました。以来30年有余の経過により、水路・農道等の老朽化への対応を水利関係者の共同作業として実施しているところがありますが、関係農家の減少、農業者の高齢化等の状況からその維持管理に支障をきたす状況が各所に見られるようになりました。このような時『農地・水・環境保全向上対策』の話が持ち上がり「日置地区の農地を守る」という一念で組織づくり、活動計画が前進し始めました。

日置地区のほ場整備事業の完成にともない「豊穰」「沃土望南」という文字が記念碑に刻まれています。また、平成7年に完成した狩音ダムには「豊水豊穰」と刻まれています。天と地と人がもたらした豊水、それがもたらす豊穰の里、それが私たちの大切なふるさとだと思います。子供達がこの地をふるさととして、心の糧として成長していくことを願って農地・水・環境を守っていきたいものです。そこにこの対策の意義があると思います。

用排水路の修復や農道の整備はもとより、セイタカアワダテソウの生い茂った遊休農地をボランティアの手で景観ゾーンへ変身させようという取組、畦畔の草をより刈るようになったという話を聞く時、この対策のささやかな浸透を感じます。



業者に発注

高齢化・後継者不足のため法面の初期補修・用排水路の目地詰め・農道舗装は業者に発注しました。

■小中学生も一役!

苗作り・田植え・稲刈りはぜひかけ等、地域の方と一緒にやってあげました。



営農活動支援

農地・水・環境保全向上対策 活動組織マップ

【営農活動支援】



県名	番号	市町	活動組織名	県名	番号	市町	活動組織名
鳥取県	1	岩美町	大谷地域資源保全活動組織	徳島県	7	美波町	赤松地域資源保全協議会
鳥取県	2	斐川町	斐川町農地・水・環境保全協議会	香川県	8	小豆島町	東谷地区農村環境保全集団
鳥取県	3	邑南町	石見農村保全組合、その他組合	愛媛県	9	久万高原町	東明神本組中組活動組織
岡山県	4	新見市	潮環境保全組合	高知県	10	今治市	今治中守保全会
広島県	5	北広島町	大朝地区	高知県	11	越知町	今成園芸組合
山口県	6	萩市	大特山保全会				

生態系保全型ほ場整備地区

鳥取県／大谷地域資源保全活動組織
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 24.4ha)

守ろう！大谷の環境資源
～生きものにやさしい大谷田んぼを目指して～

地区概要: 取組面積(共同活動) 68.7ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積24.4ha
交付金: 1,465千円(営農活動)

はじめに

大谷地域は、平成12年度から平成18年度で県営ほ場整備事業(担い手育成型)を実施し、大規模区画(1ha)に整備された。担い手として育成された「大谷生産組合」は平成17年に農事組合法人となり、整備されたほ場を中心に営農を実施している。法人となり、整備されたほ場を中心に営農を実施している。活動を行うことで、いつまでも生息できる環境を目指しています。

取組(生態系保全)に至った背景

大谷地域では、豊かな自然環境の保全や生態系を守るため、動植物の生態に詳しい専門家のアドバイスを取入れたほ場整備を実施しており、地域の住民も「環境保全」についての関心が高かった。

平成18年度に農地・水・環境保全の実験事業を実施する際、大谷の環境資源を守る取組も併せて実施することが自然と決まった。また、平成19年度からは、エコファーマーの認定を受けて営農活動支援にも取り組むこととなった。

取組の内容・成果

水路に水稲生産による濁水を流出させないため、地域全体で、不耕起栽培技術や化学肥料の局所施用。水路には「ワンド(よどみ)」を作り、魚や貝などの生きものが住みやすい環境を整えているが、その適正な管理として手作業により除草作業を実施し、生態系に影響を及ぼさないよう配慮した。

また、ワンドなど生態系保全の一環として整備してある水路を説明する看板の設置を行った。このことにより、地域住民はもちろんのこと他の地域の方に対して、生態系保全型のほ場整備が行われ適切に管理されていることを知ってもらうことができた。

今後の取組について

今まで実施している活動については継続して実施する。また、ほ場整備事業を実施中「生きもの調査」を行った経緯があり、事業完了後にどのような状況になっているか追跡の調査を実施したいと考えている。



不耕起栽培技術(乾田直播)



生態系保全の説明看板

取組面積等の拡大

高知県／今成園芸組合
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 7.0ha)

環境保全型農業による安心・安全な
農作物の面積拡大に向けて

地区概要: 取組面積(共同活動) 28.3ha
対象品目: しょうが、きゅうり うち先進的営農支援における取組面積7ha
交付金: 564千円(営農活動)

今成園芸組合は

○私たちが今成園芸組合は、20戸の農家で構成され平成15年度から農作物の栽培履歴記録の義務などから一歩進んだ取組を行うということで、ISO14001実践農家として環境に配慮した農業に取り組んでいます。

○農薬や廃棄物等の保管管理、適正処理やムダな化学肥料の使用を避けるため土壌診断による元肥施用を行い、農薬の使用回数を減らすよう今成版農業使用基準を作成し全農家の遵守に努めています。

○当初記録に慣れてなく、何度も様式を変更し現在の履歴カードとなり、日々の作業日誌と併せて農薬、肥料の記録漏れもなくなりました。また、営農活動支援交付金に関しても新たな履歴カードの作成も不要で交付金を受取っています。



しょうがのほ場に設置されたフェロモントラップ

今後の取組について

平成20年度以降は、今まで「しょうが」「きゅうり」に「にんじん」等を新しく加えて取組の組む予定です。



にんじんほ場No1



にんじんほ場No2

高付加価値化

島根県／斐川町農地・水・環境保全協議会
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 5.9ha)

環境にやさしい農業を活かした農産物のブランド化
(高付加価値化)

地区概要: 取組面積 共同活動 2,300ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積5.9ha
交付金: 352千円(営農活動)

■斐川町は

町全体で農地・水・環境保全向上対策に取り組んでおり、新田下区域においては集落営農組織が中心となり、高品質で特色のある(減農薬・減化学肥料)米づくりを推進している。

■化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組

①農薬及び化学肥料を使用しないあいがも農法



②冬期湛水等技術による特別栽培農法
(白鳥による土づくり)



「あいがも農法米」
5kg入り袋単価: 2,800円

あいがも農法米は、JA斐川町の生産者部会を通じたオーナー制で、消費者に直接提供する契約栽培米として販売。



■今後の更なる展開方向

農地・水・環境保全向上対策に取り組むことにより、減農薬・冬期湛水等による土づくり及び穴道湖への濁水等の流出水低減の技術により「安心・安全」をキーワードに環境への負荷の少ない循環型社会の実現を目指す。

高付加価値化

岡山県／潮環境保全組合
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 8.5ha)

地域で取り組む環境負荷低減の米づくり
～みんなで安心・安全な地域・営農を！～

岡山県新見市
活動組織名: 潮環境保全組合

■はじめに

潮地区は、岡山県の北西部に位置する新見市上熊谷の4集落からなる中山間地域です。当地区内では、平成16年度には場整備が完了したのを契機に集落営農への気運が高まり、中山間地域等直接支払交付金制度での共同作業と並行して話し合いを重ね、平成17年4月に営農組合を設立しました。

平成19年には、安心・安全な米作りを目指し、組合員13名がエコファーマーの認定を受け、農地・水・環境保全向上対策の営農活動支援を活用し、化学肥料と化学合成農薬を低減した米づくりへの取組を始めました。

取組内容

■営農活動支援

取組面積: 8.5ha 交付金: 509千円

一営農基礎活動一

- 技術実証の設置
- 標示票の設置 先進的取組内容を記載し、地域内外へPR
- 土壌診断、技術研修会の開催
- 先進地視察
- 一先進的な取組一
- 化学肥料、化学合成農薬の5割低減
- 堆肥の施用、種子温湯消毒、浅水代かきの実施



「実証ほ」と「標示票」

■共同活動支援

取組面積: 15ha

- 水路・農道の草刈り
- 農道側溝の泥上げ
- 農用地畔の再構築
- 在来生物の育成(マスの放流)
- 景観形成のための桜の苗木の植栽



種子温湯消毒

■取組者の声

- ◆共同活動を通して地域でのまとまりが強くなった。
- ◆環境負荷を低減する取組を契機に身近な環境活動に対する関心が高まった。
- ◆これらも環境に配慮した取組を行ってきたい。
- ◆特別栽培米として販売したい。 ◆地域の取組面積を拡大したい。

■今後の目標

- 化学肥料、化学合成農薬を低減しても収量が減少しないよう、栽培技術を上向きしよう!
- 環境の負荷を低減した栽培方法を消費者にPRし、特別栽培米として有利に販売しよう!

高付加価値化

香川県／東谷地区農村環境保全集団
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 12.6ha)

地域営農集団による環境負荷低減と
農産物ブランド化の取組

香川県小豆島町古郷地区
活動組織名: 東谷地区農村環境保全集団

地区概要: 取組面積 共同活動 20.8ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積12.6ha
交付金: 754千円(営農活動)

■取組に至った背景・経緯

- 以前から農協等の指導により、環境と省力化のための肥効調節型肥料を施用しており、化学肥料及び化学合成農薬の5割低減が行うことが出来た。
- 地元消費者からの「農薬等を減らした安心・安全な米を販売してほしい。」といった要望により、生産することになった。

■活動内容

- 活動組織の大半を占める東条基盤整備地区では、集落営農組織を結成し、農機具の共同利用など進めている。
- 環境に負荷を掛けない水稲栽培の取組検討をしていた時期に、農地・水・環境保全向上対策ができたことから、集落営農組織を中心として、化学肥料5割低減、化学合成農薬6割低減で、営農活動支援に取組んでいる。
- 生産された米のほとんどを集落営農組織が消費者へ直接販売することから「安全・安心なお米」としてブランド化を目指している。



環境負荷低減のための新たな取組である温湯種子消毒



地元消費者からの要望で始まった新米販売会



「安の郷」と名付けたブランド米

■今後の目標

- 食味の良い米の生産と栽培技術の向上。
- 苗の共同化、機械の共同化による省力化。(生産コストの低減)
- 農地の有効活用を推進するため、後作作物の導入。(麦等生産)

水田経営所得安定対策との連携

広島県／北広島町大潮地区

水田経営所得安定対策の支援を受ける
集落営農組織が中心となった取組

広島県北広島町大潮地区

■取組に至った背景

北広島町大潮地区は、中山間地域に位置しており農業従事者の高齢化等により担い手不足が問題となっていた。

そのような中、集落農場型農業生産法人(集落法人)を地域の担い手として位置づけ、そのうち5法人がそれぞれの活動組織の中心となって、農地・水・環境保全向上対策に取り組んでいる。

■地域循環型農業への取組

集落法人が中心となって栽培体系の検討を重ね、統一的に環境負荷の少ない営農に取り組むことができた。

また、堆肥散布は必須条件とし、稲わらおよび初ガラを畜産農家へ供給するなど耕畜の担い手の連携を生かした地域循環型農業への取組も促進された。



堆肥の散布

■H19年度の成果

生産された米については、大潮地区の集落法人と大型稲作農家で組織されている大潮農産で、エコファーマー米として有利販売。

平成20年度以降は、広島県の「安心!広島ブランド」特別栽培農産物認証制度の認証を取得し、特別栽培米として販売する予定。



出荷用の米 おあきさ米

水田経営所得安定対策との連携

山口県／大將山保全会
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 24.8ha)

水田経営所得安定対策との連携！ ～集落営農組織を中心とした新たな米作りへの挑戦～

地区概要: 取組面積 共同活動 48.1ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積24.8ha
交付金: 1,487千円(営農活動)

■取組に至った背景・経緯

萩市では、地域農業の担い手として、集落営農組織の育成を推進してきました。
平成16年12月に特定農業団体を設立。



度重なる話し合いを経て

平成19年4月7日に農事組合法人を設立。

以降、法人は、水田経営所得安定対策に参加するとともに、農地・水・環境保全向上対策における先進的営農活動を地域ぐるみで取り組むこととした。

■H19年度における営農活動取組内容

- ①有機物資源の循環利用の促進を通じた環境負荷低減に資する取組
(たい肥等有機質資材の施用)
- ②ほ場から泥水の流出を抑制する取組
(浅水代かきの実施)
- ③化学肥料や化学合成農薬の低減を通じて環境負荷低減に資する取組
(温湯種子消毒技術の利用、肥料の局所施用、機械除草など)



②浅水代かきの実施

■営農支援現地確認(H19.8.21)

営農活動実施確認者(県及び市担当者)に対し、営農担当者大將山保全会役員等)より、使用農薬、肥料、環境負荷低減の取組等について状況説明を行う。



■今後の展開方向

- 法人化を契機として、自立した農業経営の展開が必要となっている。
- 農地・水・環境保全向上対策(営農活動)を通じて、環境保全型農業の実践や米の販売先との結びつきを強め、法人の経営安定を目指す。



地方公共団体、JAとの連携

愛媛県／今治中寺保全会
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 1.6ha)

農地・水・環境保全向上対策を活かした 環境保全型農業の推進 ～「エコファーマー」への取組～

愛媛県今治市 中寺地区
活動組織名: 今治中寺保全会

主要作物面積: 33.2ha(トマト 1.7ha、なす 3.9ha) ※JA管内
(H19先進的営農対象面積) 1.6ha(トマト 0.5ha、なす 1.2ha)

交付金: 640千円
組織体系: トマト部会、ナス部会、キュウリ部会、レタス部会、JA越智今治、生産者

■取組に至った背景・経緯

今治地区では、対策に取組む以前より、農協等関係機関の指導のもと、減農薬栽培等が推進されていたが、一部地域で化学肥料・化学合成農薬の多用により農地の力力が低下していた。

平成18年に普及組織の指導・支援により、地域全体で、スムーズに取組むことができた。



土づくりと適正施肥

■地域の課題と設定した目標

課題

野菜栽培では化学肥料の多用により土が痩せたり、化学合成農薬の散布が多くなり、農家が考える安全・安心な野菜栽培が計画的に実施できなくなった。

環境保全型農業の重要性に目覚める。

目標

- ①堆肥や有機質肥料による土づくり。
- ②果菜類野菜において着果・果実肥大促進のためのホルモン処理の代替として昆虫等による自然受粉を行うなど、減農薬栽培に取組む。
- ③消費者の求める安全・安心な野菜生産。



太陽熱利用による土壌消毒

■営農活動支援に取り組んで良かったこと

- ①今まで減農薬・減化学肥料栽培に取り組む農業者に対する助成はなかったため、画期的であり、取り組む農業者は大変助かっている。
- ②地域全体で環境保全に対する意識が高まった。
- ③付加価値(安全・安心)による有利販売が出来た。
- ④品目間の技術交流が盛んになった。



消費者とのふれあい交換会

■今後の更なる展開方向

- ①消費者との交流を積極的に行い、販売拡大を図る。
- ②数品目のセット販売でブランド確立を図る。



「エコえひめ認証マーク」

地方公共団体、JAとの連携

愛媛県／東明神本組中組活動組織
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 12.7ha)

JAとして環境保全型農業を推進する中で ～ブランド化した農産物の生産拡大～

愛媛県久万高原町本組・中組地区
活動組織名: 東明神本組中組活動組織

地区概要: 取組面積(共同) 20.4ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積12.7ha
交付金: 交付金762千円(営農)



■取組に至った背景・経緯

- ①「できた米を売る時代」から「売れる米を作る時代」への意識改革
- ②消費者から産地の顔が見え、産地から消費者の顔が見える体制づくり
- ③農家・農協・行政が一体となった生産販売の取組の3つを稲作経営の柱とし、石鏡山から流れる清流を利用した「久万高原の清流米」として流通体制を整備した。

■四国久万高原の清流米とは



作付品種: コシヒカリ、キヌヒカリ、その他
減農薬・減化学肥料栽培(技術的取組)
①土づくり技術(稲わらのすき込み)
②化学肥料低減(県慣行基準より5割低減)
③化学合成農薬低減
(県慣行基準より5割低減: 18成分 9成分)



■営農活動支援に取り組んで良かったこと

- ①今まで減農薬・減化学肥料栽培に取り組む農業者に対する助成はなかったため、画期的であり、取り組む農業者は大変助かっている。
- ②地域全体で環境保全に対する意識が高まった。
- ③消費者が求める安心・安全な米の生産体制が整うことができた。

■今後の更なる展開方向

- ①消費者との交流を積極的に行い、販売拡大を図る。
- ②省力化による産地の維持とあわせて、さらに環境にやさしい栽培体系を推進する。



J A松山市ブランド米

地方公共団体、JAとの連携

島根県／石見農村保全会、その他組合
(先進的営農支援交付金の対象農用地面積 53.7ha)

農地・水・環境保全向上対策と一体となった ハーブ米の生産推進

島根県邑南町・美郷町
活動組織名: 石見農村保全会、その他組合

地区概要: 取組面積(共同) 邑南町、美郷町 1,614.5ha
対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積53.7ha
交付金: 3,222千円(営農)

■取組に至った背景・経緯

旧石見町 H16. 10に合併し邑南町となる)がハーブを核としたまちづくり(香木の森公園)により、JA独自ブランド開発による米の有利販売をスタート。

平成15年からはハーブの1種であるレッドクローバーを土づくりに活用した安全・安心な石見高原ハーブ米に取組、当面の販路として広島の高橋からスタートとなり、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組むこととした。

■ハーブ米推進体制

- 生産者組織: ハーブ米研究会設立(H17. 2): H19年度取組組織: 石見農村保全会、他活動組織。
- 関係機関: J A、町、普及部プロジェクトチーム、農業技術センター。
- 推進内容: 栽培技術 実証圃の設置、栽培マニュアル作成、試験研究機関との連携等、作付面積の拡大、ハーブ米の販路定着等。

■H19年度実施概要

- ハーブで育てた安心・安全米
土づくり: 緑肥にレッドクローバーを用いる。
・施肥: 本田では有機質肥料を用い化学肥料は使わない。
防除: 化学農薬の使用は慣行の5割以下。
- ハーブ米栽培技術の向上
ハーブ(クローバー)栽培技術改善(排水対策、適期播種)
・施肥体系の確立(追肥の変更)
防除体系の見直し(温湯種子消毒の導入)
- 生き物調査研修会の実施
・生産者が環境に寄与していることを理解し、農業が自然を支えていることを消費者等へ発信する。



開花期を迎えたレッドクローバー

■今後の活動方向

- 栽培技術の向上(ハーブの生育に応じた施肥技術)、(除草剤を使わない米づくりへの取組)
- 営農基礎活動支援交付金等を活用した研修会、生き物調査等の実施
- 集落営農組織等での作付拡大



消費者との交流

徳島県／赤松地域資源保全協議会
あかまつ
 (先進的営農支援交付金の対象農用地面積 10.9ha)

消費者との交流!

～お米を通じた都市住民との交流が地域の宝物～

徳島県美波町 赤松地区
 活動組織名: 赤松地域資源保全協議会

地区概要: 取組面積 共同活動 28ha

対象品目: 水稲 うち先進的営農支援における取組面積10.9ha

交付金: 652千円(営農活動)

■地域の概況と取組の背景

赤松地区は、美波町から那賀町へ流れる赤松川の両岸に点在する山間農業地域だが、農用地の約9割は区画整理されており、水稲中心の農業を営んでいる。

近年は高付加価値型農業として特別栽培米の栽培に積極的に取り組んでいるが、農業者の高齢化や施設の老朽化が進行し、施設の維持管理にも影響が少しずつ出始めていた。

▶ 地域の問題点

- ① 地域内労力の低下 過疎化、高齢化の進行
- ② ①に起因する農業用施設(特に水路)の維持管理体制の弱体化

▶ 目標

- ① 農業の継続と農用地等施設の適切な保全管理
- ② 農村景観の保全
- ③ 環境保全型農業への積極的な取組と都市住民との交流促進



■消費者との交流 目標③

特別栽培米(ブランド名: 乙姫米)に取組、その販売先の生協等と連携して、都市住民との交流(田植え体験、稲刈り体験等)を行ってきた。



4月21日 田植え体験



8月18日 稲刈り体験



特別栽培米(乙姫米)

■取組の成果

- ① 農用地の(面や水路周辺の草刈り、泥上げなどを徹底することができ、農業生産も順調に行うことができた。
 - ② 共同作業や消費者との交流会を通じて、地域での話し合いが増えたことで地域住民とのつながりが更に強くなり、地域のまとまりを感じることができた。
 - ③ 当地区では、以前より、特別栽培米が実施されていたが、本対策実施を機にA育苗センターで温湯種子消毒機を新たに導入し、種子消毒の農業使用回数をさらに減らすことができた。(その結果、地区の農業者22名が新たにエコファーマー認定を受けた。)
- また、先進的な取組の実施面積(特別栽培面積)も平成20年度計画では若干増加しており、環境負荷低減の取組が広がっている。
- ④ 消費者との交流会を通じて、赤松地区の農業を持続しながら、環境を守り、この素晴らしい景観を維持していることの理解が深まった。

【活動組織の設立と活動に関する相談窓口】

地域協議会	電話番号
鳥取県農地・水・環境保全協議会	0857-38-9500
島根県農地・水・環境保全協議会	0852-32-4144
岡山県農地・水・環境保全向上対策協議会	086-225-0921
広島県農地・水・農村環境保全協議会	082-502-7476
山口県農地・水・環境保全向上対策協議会	083-933-0755
徳島県農地・水・環境保全活動推進協議会	088-626-3900
(香川県) 農地・水・環境保全向上対策東讃地域協議会	087-888-0144
(香川県) 農地・水・環境保全向上対策中讃地域協議会	0877-62-0816
(香川県) 農地・水・環境保全向上対策西讃地域協議会	0875-25-1446
愛媛県農村環境保全向上活動支援協議会	089-927-7222
高知県資源保全施策地域協議会	088-823-5576

【農地・水・環境保全向上対策に関する質問・相談】

中国四国農政局 岡山市下石井1-4-1 岡山第2 合同庁舎
 農地整備課 電話: 086-224-9423
 Eメール: sekkei@chushi.maff.go.jp

【インターネットからの情報】

- ★農林水産省 http://www.maff.go.jp/nouti_mizu/index.html
- ★中国四国農政局 http://www.maff.go.jp/chushi/taikou/kankyuu_index.html